

東京都農林水産振興財団が手掛ける森林整備のひとつに「都民との協働による森づくり」の取り組みがあります。

これは東京都の面積の4割を占める森林の、多面的機能を保ち、森林循環の促進を図るため、市町村や企業との連携により森林整備を行うものです。

## 【森林の多面的機能】

森林の多面的機能	公益的機能	ア) 水源かん養 洪水緩和、水資源貯留、水量調節、水質浄化
		イ) 土砂災害防止／土壌保全 表面侵食防止、表層崩壊防止、その他土砂災害防止、防風
		ウ) 快適環境形成 気候緩和、大気浄化、快適生活環境形成（騒音防止）
		エ) 生物多様性保全 遺伝子保全、生物種保全、生態系保全
		オ) 地球環境保全 地球温暖化の緩和（二酸化炭素吸収）、地球の気候の安定
	保健休養・文化機能	カ) 保健・レクリエーション 療養、保養（散策、森林浴）、行楽、スポーツ
		キ) 教育文化 景観・風致、学習・教育、芸術、宗教・祭礼、伝統文化、地域性維持
	物質生産機能	ク) 林産物生産 木材、きのこ・山菜、工業原料、工芸材料

(参考：日本学術会議 地球環境・人間生活に関わる農業及び森林の多面的な機能の評価について)

## 【森林循環のイメージ】



今回ご紹介するのは、その中のひとつ「航空電子グループの森」の活動です。  
2004年(平成16年)に50年間の分収林契約<sup>(注1)</sup>を結び、毎年いろいろな形で  
社員参加による森林整備活動を行っています。  
今年は10月8日(金)に7名の若手社員の方が奥多摩の森を訪れました。サ  
ポート隊HPをご覧の皆さんにも、活動の一部をご紹介します。



←  
奥多摩駅から車で20分  
ほどにある「航空電子  
グループの森」入り口  
にある案内板が目印です。

⇒  
サポート隊の活動同様、財団職員や指導  
員からの説明や講習のあと、初めに準備  
運動を行いました。



←  
まずは林内の道づくりから。  
鍬を手に、作業する人たちが歩き  
やすいよう、デコボコ道を平らに  
なるよう仕上げていきました。



⇒  
秋晴れで、陽ざしも強かったので  
この後の休憩では十分に水分補給  
も行いました。



注1) 分収林契約は、伐採跡地を再び森林として整備するため、企業等(今回は日本航空電子工業株式会社)  
が費用負担者となり、土地所有者、財団の三者で結んだ契約



⇐  
休憩のあとは整備した道から斜面に入り除伐を行いました。  
指導員さんの指定した劣勢木などを鋸で伐倒したり、ツル切り等を行いました。

⇨  
こちらの斜面では安全帯を装着して枝打ちを体験しました。



最後に案内板の周囲の草刈りを行い、本日の作業を終え、スタッフも交えて記念撮影を行いました。 ↓



**サポート隊のボランティア活動以外にも、このような活動が更に広がり、森林の機能が充実していくと良いですね。航空電子グループの皆さん、今年もご苦勞さまでした。ありがとうございました！**